

パンジー

———— 発病・加害時期  
 ===== 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋	作												
冬	作												
灰	病												
色	病												
か	病												
び	類												
腐	類												
枯	類												
ア	類												
ブ	類												
ラ	類												
ム	類												
シ	類												
ハ	類												
ダ	類												
ニ	類												

灰色かび病

留意事項

- 1 SDHI剤 (7)、QoI剤 (11) は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 ハウス栽培では、換気を行い湿度を下げる。
- 2 被害葉や咲き終わった花弁はほ場外に持ち出し処分する。
- 3 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
  - ・ **セイビアーフロアブル20** (12)
    - 【花き類・観葉植物(除きんせんか、ホワイトレースフラワー) 1000倍 発病前～発病初期/4回】
  - ・ **フルピカフロアブル** (9)
    - 【花き類・観葉植物(除ばら、スターチス、宿根かすみそう、ゆり、りんどう) 2000～3000倍 発病初期/5回】
  - ・ **サンヨール** ( ) 【500倍 開花前まで/8回】
- 4 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ **アフエットフロアブル** (7)
    - 【花き類・観葉植物(除きく、ゆり、チューリップ、りんどう) 2000倍 発病初期/3回】
  - ・ **ファンタジスタ顆粒水和剤** (11)
    - 【花き類・観葉植物(除きく、トルコギキョウ) 3000倍 発病初期/5回】
  - ・ **ゲッター水和剤** (10) (1)
    - 【花き類・観葉植物(除ひまわり、ゼラニウム) 1000倍 -/5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用时には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 5 暖房機ダクトが設置されているハウスでは、ダクト内投入による処理法も有効である。(XⅡ省力安全防除 2ダクト内投入 参照)

## 根腐病

### 防除方法

- 1 排水の良好な培土及び栽培管理をする。
- 2 育苗トレイやポットは、残根等がないように洗浄し消毒してから用いる。  
(XⅣ農業用資材の消毒 参照)
- 3 は種床、育苗用土には新しい土を使う。
- 4 被害株は、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 5 育苗期に下記の薬剤をかん注する。
  - ・ [ベンレート水和剤](#) 1  
【2000倍 かん注 セルトレイ(60×30cm)1冊当り500mL 育苗期／2回】

## 立枯病

### 留意事項

- 1 QoI剤 (1 1) は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

### 防除方法

- 1 排水の良好な培土及び栽培管理をする。
- 2 育苗トレイやポットは、残根等がないように洗浄し消毒してから用いる。  
(XⅣ農業用資材の消毒 参照)
- 3 は種床、育苗用土には新しい土を使う。
- 4 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
  - ・ [オーソサイド水和剤80](#) M 4  
【花き類・観葉植物(除ばら、りんどう、せんにちこう、コスモス、ひまわり、シネラリア、スイトピー、みやこわすれ、アンスリウム、斑入りアマドコロ) 600倍 ー／8回】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ユニフォーム粒剤](#) 1 1 4  
【花き類・観葉植物(除きく、トルコギキョウ) 立枯病(リゾクトニア菌) 18kg／10a 土壌表面散布 定植時または生育期／3回】
  - ・ [リゾレックス水和剤](#) 1 4  
【花き類・観葉植物 500～1000倍 土壌かん注 3L／㎡ 生育期／5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## アブラムシ類

### 留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- 2 ダントツ粒剤の成分クロチアニジンの総使用回数は4回以内。

### 防除方法

- 1 定植前に下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ダントツ粒剤](#) 4 A  
 【花き類・観葉植物(除きく) 6kg/10a 生育期株元散布 発生初期/4回】または  
 【花き類・観葉植物(除きく) 1~2g/株 生育期株元散布 発生初期/4回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) 4 A  
 【花き類・観葉植物(除きく) 2000~3000倍 発生初期/5回】
  - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A  
 【花き類・観葉植物(除はぼたん) 2000~4000倍 発生初期/6回】
  - ・ [コルト顆粒水和剤](#) 9 B 【花き類・観葉植物 4000倍 発生初期/4回】
  - ・ [ジェイエース水溶剤](#) 1 B  
 【花き類・観葉植物(除ばら、きく) 1000倍 発生初期/5回】

## ハダニ類

### 留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
- 2 ナミハダニは薬剤抵抗性が生じており、効果の劣る薬剤も出てきているため、薬剤選択は特に注意する

### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ダニオーテフロアブル](#) 3 3 【花き類・観葉植物 2000倍 発生初期/2回】
  - ・ [カネマイトフロアブル](#) 2 0 B  
 【花き類・観葉植物(除ばら、きく、カーネーション、デルフィニウム)  
 1000倍 -/1回】
  - ・ [バロックフロアブル](#) 1 0 B 【花き類・観葉植物 2000倍 発生初期/1回】
  - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3  
 【花き類・観葉植物(除きく、ストック) 2000倍 発生初期/2回】
  - ・ [ダニトロンフロアブル](#) 2 1 A 【花き類・観葉植物 1000~2000倍 発生初期/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。